

玉造温泉
湯之助の宿

長楽園

百二十坪の大露天風呂と
一万坪の大庭園

長楽園近郊観光地のご紹介

玉造温泉は、神話のふるさと出雲のまん中に位置する
絶好の観光拠点です。春夏秋冬、季節ごとにそれぞれ異なる
風情が楽しめる出雲の旅を、長楽園を足場にして
十二分にご堪能いただけます。



〈糸道湖〉

〈出雲大社〉

〈松江城〉

〈石見鳥居山〉

〈足立美術館〉

〈堀川遊覧〉



お問い合わせ、ご予約は **0120-62-0171** (フリーダイヤル)
〒699-0201 島根県松江市玉湯町玉湯323 TEL/0852-62-0111 FAX/0852-62-0115
www.choraku.co.jp


長楽園の歴史は、玉造温泉の歴史です。
玉造温泉は、奈良時代初期に私どもの家祖にあたる長谷川俊方によって開かれました。
俊方はのちに出家して大山寺を開山、金蓮上人と称しています。
その後長谷川家は、室町時代に洪水で埋まった温泉を再興、江戸時代には、
松江藩より「長谷川湯之助」の官職を賜って、元湯の管理、湯員の管理、湯買前など、
玉造温泉の発展に力を注ぎました。やがて明治元年(1868年)長楽園の商号で
旅館業を開始。明治12年には、日本の広さの庭園混浴大露天風呂が完成しています。
以来玉造園一の宿として、親多の文人墨客、名士の方々に愛されてきました。
皇室の方々にも、折々にご米田の榮譽を賜っております。

CHORAKU-EN
323, Tamatsukuri, Tamayu-cho, Matsue-shi, Shimane, 699-0201, Japan



広さ一万坪、数百種の樹木や草々に
彩られた庭園も、長衆園の大切な
おもてなしの一部分です。
移ろう季節に合わせて、春夏秋冬それぞれに
美しい表情を見せてくれる日本庭園。
玉砂利を踏み、石橋を渡って
大小の池をめぐり、木々の間をゆつくりと
散策してみてください。
あわただしい日々の暮らしにまぎれて、
ともすると忘れかけていた大切なことを、
きっと再発見されることでしょう。

庭園の中には、大跡天風呂をはじめ、
離れの客室、昭和天皇ゆかりの御座所、
山荘特別室などが、点在しています。
散策に疲れたら、池の畔の休憩処で
ゆつくりとお寛ぎください。

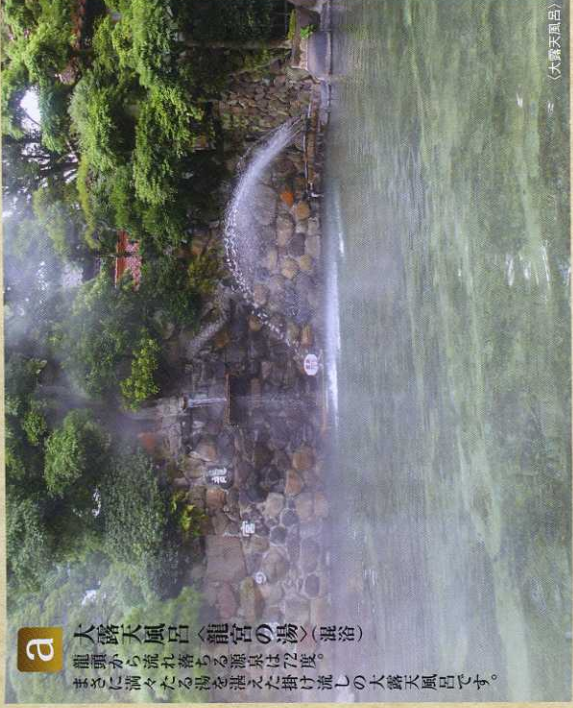


出雲風土記にも、豊かな効能が
語られている玉造温泉。

かの「枕草子」にも記された日本屈指の名湯です。
その湯元に、広大な庭園に包み込まれるように
静かな佇まいを見せるのが「湯之助の宿長楽園」。

「湯之助」とは、江戸時代に松江藩より
玉造温泉を預かり、一切を取りしきるために、
私共にご与えられ、大切に受け継いできた役職の名前です。
百二十坪の大露天風呂に滔滔と湧き出し流れる
源泉にゆったりと身体を浸し、心ゆくまで
贅沢な時間をお過ごしください。

源泉
72℃



a 大露天風呂〈龍宮の湯〉
 龍宮から湧き出る源泉は72度。まさに滝となる湯を湛えた掛け流しの大露天風呂です。

〈大露天風呂〉



b 女性専用浴場〈水晶の湯〉
 長楽園自慢の美肌の湯をお楽しみ。こちらから大露天風呂に入ることができます。

〈水風呂の湯〉

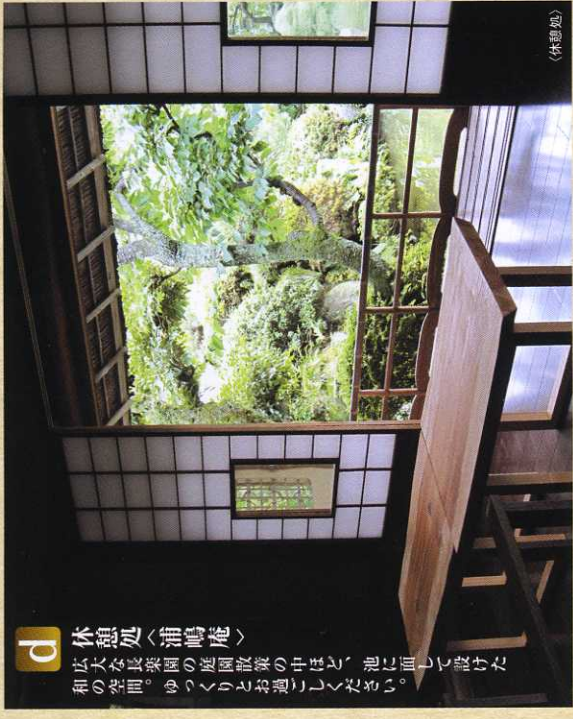


c 離れ〈知心庵〉
 庭園の中に行む一軒家。どちらの部屋にも専用の源泉掛け流し温泉をご用意しています。

〈知心庵入口〉

〈知心庵露天風呂〉

〈和室・茶室〉



d 休憩処〈浦嶋庵〉
 和の空間。ゆったりとお過ごしください。

〈休憩処〉



e 御膳所・山荘特別室
 〈春之間〉〈常盤之間〉
 昭和天皇ゆかりの山荘。御膳所の一角に仕上がった特別室。専用露天風呂と庭園を備えた贅沢な空間です。

〈春之間露天風呂〉

〈御膳所・山荘玄関〉

〈春之間茶室〉



f 本館露天風呂
 長楽園のもう一つの露天風呂が〈恵泉〉にあります。朝昼夜も備えて、いつでも源泉掛け流しの湯をお楽しみいただけます。

〈露天風呂〉



g 室内浴場〈恵泉〉
 明るく清潔で、広々とした室内大浴場です。また、本館露天風呂の良湯を堪能いただけます。

〈室内浴場 恵泉〉



h お食事会場〈故郷〉
 お食事処〈若草〉

〈和室・茶室〉

